

キャリア教育優良PTA団体として文部科学大臣表彰を受賞

令和8年1月19日、東京都千代田区霞が関の文部科学省講堂において行われ、杉本勝利会長が、



全国大会や中四国大会の際に、国立大学や企業への訪問研修を行っています。

③各種PTA大会に併せた大学・企業等への訪問研修

平成6年に始まり、今年度で30回目の開催となりました。来年度は広島方面に訪問する予定です。

②京阪神方面への大学・専門学校訪問研修

・バスでの「県内企業現地研修会」

・「高P連だより」での県内大学・短大の広報活動

・県内就職のための各種イベント案内

①他の機関との連携

「大学・地域共創プラットフォーム香川」や県の「ワークサポートかがわ」と連携して次のようなイベントを行っています。

11月に開催する「保護者のためのキャリアデザイン研修会」

香川県高等学校PTA連合会の定めるキャリア教育の取り組みが評価され、「第18回 キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受賞しました。

これは、キャリア教育の充実・発展に尽力し顕著な功績が認められる学校等を文部科学大臣が表彰するもので、PTA連合会としては全国で本連合会のみが受賞しました。

第68回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会香川大会のご案内

【大会テーマ】

『愛・さん讚』

～認めあい・支えあい・信じあい～



大会要項

- 1 趣旨 高等学校教育/特別支援教育の振興、高校生の健全育成及び高等学校PTA活動の推進等に関する重要課題について研究協議する。
- 2 主催 中国・四国地区高等学校PTA連合会
- 3 共催 一般社団法人全国高等学校PTA連合会 香川県教育委員会
- 4 主管 香川県高等学校PTA連合会
- 5 後援 香川県、高松市、高松市教育委員会、香川県高等学校長協会
- 6 日時 令和8年7月10日(金)9:40～16:00
- 7 会場 レクザムホール 大ホール 高松市玉藻町9番10号

- 8 参加者 中国・四国地区高等学校PTA連合会会員 約1,200名
- 9 参加費 5,200円(弁当代金1,200円を含む)
- 10 日程
 - 9:00～9:40 受付
 - 9:40～10:25 開会行事
 - 10:40～12:00 記念コンサート(歌とトーク) シンガーソングライター 半崎 美子 氏
 - 12:00～13:00 昼食
 - 13:00～13:50 高校生による活動発表
 - 香川県立高松北高等学校 応援部
 - 高松中央高等学校 空手道部
 - 尽誠学園高等学校 和太鼓部
 - 14:00～15:40 研究協議
 - 広島県立戸手高等学校
 - 高知県立春野高等学校
 - 香川県立高瀬高等学校
 - 香川県立香川中部支援学校
 - 15:45～16:00 閉会行事

～卒業される皆さんへ～
ご卒業おめでとうございます

世代と世代が支え合う
20歳になったら国民年金

日本に住む20歳以上60歳未満のすべての人の加入が義務付けられています
日本年金機構 高松西年金事務所

香川県高等学校PTA連合会推薦

高校生総合保障制度ご案内

当制度は、お子さまに安心・安全に学校生活を送って頂くために導入されております。
部活中でのケガの補償はもちろん、自転車条例への対応、タブレット端末の補償、そしてSNS上での誹謗中傷やストーカーなどの被害を受けた際の弁護士への相談費用など、お子様の生活を24時間補償致します。
この機会に加入を是非ともご検討頂けますようお願い申し上げます。

パンフレット配布スケジュール

在校生は、終業式または始業式など、新入学生は、合格説明会などで配布されます。

第一次募集締切

2026年3月31日(火)

補償(保険)期間

2026年4月1日(水)より1年間

※卒業まで自動更新

16歳以上の自転車運転者の交通違反に

「青切符制度」が適用されます。

保護者として、高校生と考えたい交通ルール

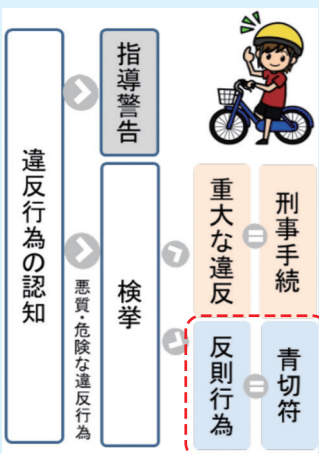
【高校生にも関係する新しい制度】

令和8年4月から自転車の一定の交通違反にも交通反則通告制度(いわゆる青切符制度)が適用されます。

交通反則通告制度とは、交通違反をした場合の手続きを簡略化するためのもので、一定期間内に反則金を納めると、刑事裁判や家庭裁判所の審判を受けずに処理が終了します。

ただし、酒気帯び運転など重大な違反等の場合は、刑事手続で処理したり、途中で刑事手続に切り替わります。

青切符制度が適用されることにより、検挙後の手続きは大きく変わりますが、自転車の交通違反に対する「指導警告が基本」、「交通事故の原因となるような悪質・危険な違反は検挙」という考え方は、現在と変わりません。



R8.4.1～

青切符が適用される対象者は、16歳以上の自転車運転者です。これは、交通ルールに関する基本的な知識があり、青切符制度の手続を理解できる年齢の者を対象とすることが適切であるとの考えから、原付免許や普通二輪免許を取得することができる年齢等を踏まえて対象者の年齢が決まったものです。

【自転車運転者講習】

14歳以上の自転車運転者が、3年以内に信号無視等の交通違反で2回以上検挙された場合、自転車運転者講習を受講しなければなりません。

青切符制度の適用をきっかけに、子どもたちが「自転車は車の仲間」という自覚を持ち、「ヘルメットをかぶり、ルールを守って安全に走る」—そんな意識を家庭から広げていきたいと思います。

※詳しくは、「自転車ポータルサイト」をご確認ください。



- キャリア教育優良PTA団体等文部科学大臣表彰を受賞1
- 16歳以上の自転車運転者の交通違反に「青切符制度」適用1
- 第7回高P連研修会開催2
- 第3回保護者のためのキャリアデザイン研修会開催2
- 第30回大学・専門学校訪問研修会報告3
- 令和8年度主要行事予定案3

- キャリアデザイン研修(四国学院大学・高松短期大学)4
- PTA活動紹介(高瀬高校・香川西部支援学校)5
- 第68回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会香川大会のご案内6
- 20歳になったら国民年金6
- 高校生総合保障制度ご案内6



制度に関するお問合わせ先 【取扱代理店】
(有)アワード 高松市出作町305-2 TEL:087-888-6131
TMG(トータルマネジメントグループ) 高松市円座町510-5 101 TEL:087-813-5808
(株)アイネクスト 高松市木太町1130-3 TEL:087-861-1177

【引受保険会社】AIG損害保険株式会社
AIG 高松支店 TEL:087-851-0196
AIG 香川県高松市磨屋町8-1 セトラスビル4F

第30回 大学・専門学校訪問研修会

京都方面 報告

今回のテーマは「シン・京都」

京都産業大学
今年創立60周年を迎えた総合大学です。京都市の北部に位置し、すべての学部が集まった一拠点総合大学

10月10日(金)・11日(土)、第30回大学・専門学校訪問研修会を開催し、県下高等学校の保護者・教職員等59名の方が参加しました。



同志社大学

今年創立150周年を迎えた歴史と伝統を誇る全国屈指の総合大学で、赤レンガ造りの歴史的建造物が多く、落ち着いた雰囲気のキャンパスでした。地下鉄の駅に直結するなど、交通アクセスの良さにも驚きました。大学説明では、まず建学の精神である「良心教育」に感銘を受けました。また、大学選びのために、大学の研究内容や授業内容をしっかりと知っておくことが大事であることなどの心構えについてアドバイスをいただきました。

学生食堂での昼食では、学生たちがの様子を見ることができ、知の追求ができる活気にあふれた大学を体感することができました。

「クロスコスオーバード」の専門科目を履修できる「クロスコスオーバード科目群」

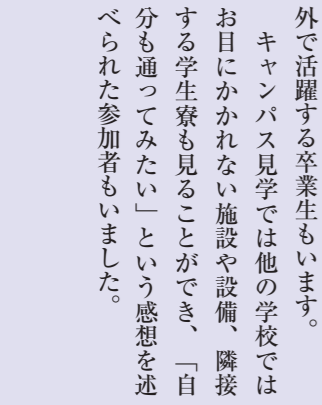
京都橘大学
2006年に前身の京都橘女子大学から男女共学となった大学です。近年学部再編を積極的に進めており、スタート時点では3学部7学科でしたが、2026年には10学部18学科となる予定です。分野を越えて他学科の専門科目を履修できる「クロスコスオーバード科目群」

近代的な校舎を少し汗を拭いながら笑顔で対応してくれました。学生が明るく主体性を持ってのびのびと大学生を送っているという印象を受けました。



「救急救命学」が大きな特長です。見学では実習用の救急車が目にとまり、多くの参加者がスマホに向けていました。学部増設や延べ志願者増加など、勢いのある大学だと感じました。

京都伝統工芸大学校
京都府南丹市の自然豊かな地にある日本唯一の伝統工芸に特化した学校です。国(経済産業省)の要請を受けて伝統工芸技術の継承者の育成を目指して開校し、陶芸・木彫刻・仏像彫刻・蒔絵など、10の専攻を設けています。



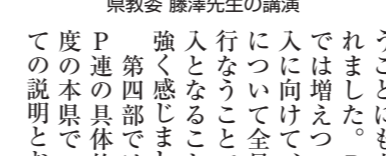
第7回高P連研修会開催

「高校教育の新たな風 ～地域振興を目指した探究活動とPTA活動の可能性～」

9月30日(火)、サンポートホール61会議室で、第7回高P連研修会を開催しました。今回は「高校教育の新たな風」地域振興を目指した探究活動とPTA活動の可能性」をテーマに、前半は探究活動・地域振興について、後半はPTA活動の意義や、中四国高P連香川大会の概要等について研修を行いました。

第一部は「総合的な探究の時間の意義について」探究活動の現状、成果と課題」と題して、香川県教育委員会事務局高校教育課主任指導主事の藤澤衛先生からご講演をいただきました。社会や経済の先行きに対する不確実性が高まっており、激しい変化が止まることのない時代を生きるためにも新しい学びである探究活動が必要となっていくこと、高等学校においては、探究活動を通して、「スキル・ミツショ」の達成を目指す必要はないこと、探究活動における問題発見・解決能力の育成のためには、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現といったサイクルが発展的に繰り返されていくことが肝要であることなどについて分かりやすく説明していただきました。

第二部は「地域振興と高校生への期待」世界に誇れるまちづくり」と題して、三豊市観光交流局のマネージャー宮本唯様からご講演をいただきました。三豊市は2017年に父母ヶ浜が爆発的な人気となって以来、この6年間で観光客は約100倍にもなっており、絶景のまちとして大きく発



県教委 藤澤先生の講演

展を遂げています。観光の現状を変えたいため、行政が組織を改編し、SNS情報拡散型の観光地となっています。また、その活動が持続可能となるよう、地域と観光客が共創したモデルサイクルなど、地域振興の成功例として、他の自治体の今後の施策に大きなヒントを与えるものとなっていることを強く感じました。

第三部は「PTA活動の意義について」と題して、香川県高P連の杉本勝利会長から話がありました。PTAとは、子どもたちにとってより良い環境を作るための団体であること、その活動は、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちをサポートする、そして何よりも保護者と教職員が相互に理解を深め合うことが大切であることを強調されました。また、PTAは成人教育の場でもあり、活動を通して保護者も子どもたちとともに学んでいくことができる組織であるということにも大きな意義があるとも話されました。PTA未加入者が小中学校では増えつつある状況ですが、全員加入に向けて、様々なメリットや必要性について全員の保護者にリットや説明を行なうことで、すべての学校で全員加入となることを目指さねばならないと強く感じました。

第四部では、事務局長から香川県高P連の具体的な取組みの紹介と、来年度の本県での中四国高P連大会に向けての説明とお願いをいたしました。



三豊市観光交流局 宮本様の講演

第3回 保護者のためのキャリアデザイン研修会 開催

11月22日(土)、香川短期大学において、大学・地域共創プラットフォーム香川と連携して「保護者のためのキャリアデザイン研修会(第3回)県内大学・短大合同進路説明会」を開催しました。今年度は香川県PTA連絡協議会にご協力いただき、中学生の保護者の方にも参加していただきました。

第一部では、まず代々木ゼミナール大阪南校主幹研究員である山根正義様から、「保護者・生徒のためのキャリアデザイン」未来を見据えた進路選択と大学入試」と題して講演がありました。まず、文系・理系の選択や見分け方について、一つのテーマに対して学べる学部はさまざまであることなど、大学へのアプローチについてアドバイスをいただきました。続いて、最近の入試動向や、費用や大学生のアルバイト・奨学金の実態についても具体的な数字でお示しいただきました。さらには、受験校決定のためには、今までの自分をしっかりと振り返ることにより自分の興味や何であるかがわかること、総合型・学校推薦型・一般の入試3区分それぞれについてのポイント、大学理解の視点として、学びたい講座・教授の存在などを知ることが重要であることなどを熱く語っていただきました。最後に、保護者向けに、大学選びのミスマッチを防ぐには高校1年次から時間をかけて考える必要があることや、大学選びの際は、できれば親子でオープンキャンパスに行くべきであるなどといったアドバイスをいただきました。

続いて、(株)帝国データバンク高松支店長の道田祐一様から、「香川県ではたらく魅力」と題して、県内就職についての講演をしていただきました。香川県は産業構造が全国とほぼ同様であり、さまざまな働き方ができること、自県内での取引完結度が低い県外・海外との取引が多いため、幅広い取引で成長のチャンスがあること、世界レベルの企業がたくさんあることなど産業界全般の特徴について紹介されました。さらには、香川県は経済的に豊かで自然災害も少なく、大型店舗も多いことなど日々の生活が便利で子育てもしやすいことなど暮らしやすい県であるとの説明があり、あらためて魅力の多い働きがいのある県であることが理解できました。



第1部 講演会



第2部 進路説明・個別相談会

第二部の「県内の大学・短大による進路説明・個別相談会」では、県内の8大学・短期大学がブースを設けて、それぞれの学校の特色や設置学部・学科の教育内容、入試制度などの説明があり、個別の質疑応答を行う時間も持っていたいただきました。参加者は、希望する大学・短大の説明会に参加し、その学校の教育内容などを具体的に知ることができ、地域内の高等教育機関を理解できる大変有意義な説明会になったと考えています。

令和8年度 主要行事予定案

- 5月21日(木) ●第1回定例理事会(高P連・振興会)、中四国香川大会第4回実行委員会
- 6月9日(火) ●PTA活動推進功労者表彰式・高P連総会並びに教育振興会定例評議員会
- 6月30日(火) ●第2回定例理事会(振興会)
- 7月10日(金) ●中四国香川大会第5回実行委員会・各校代表者打合せ会
- 7月10日(金) ●第68回中国・四国地区高P連大会香川大会
- 8月7日(金) ●第2回定例理事会(高P連)及び第3回定例理事会(振興会)、中四国香川大会反省会
- 8月20日(木) ●第75回全国高P連大会大分大会
- 10月9日(金) ●第31回大学・専門学校訪問研修会
- 2月4日(木) ●第3回定例理事会(高P連)及び第4回定例理事会(振興会)

※毎年9月に開催しております「高P連研修会」は中四国高P連大会が地元開催のため令和8年度は実施しません。

第68回中国・四国地区 高等学校PTA連合会大会

- 期 日 令和8年7月10日(金)
- 会 場 レクザムホール 大ホール(高松市)

香川大会

第75回全国 高等学校PTA連合会大会

- 期 日 令和8年8月20日(木)～21日(金)
- 会 場 別府国際コンベンションセンタービーコンプラザ 他3会場(大分市・別府市)

大分大会

第31回 大学・専門学校訪問研修会

- 期 日 令和8年10月9日(金)～10日(土)
- 訪問先 広島方面の大学・専門学校

広島方面

※訪問先は決定次第ご案内いたします。

PTA活動紹介

このように高瀬高校PTAは、毎年PTA活動では、5月に総会、6月・10月に役員会を行っています。9月の文化祭では、ここ数年は、ポップコーン販売、3行ラブレター募集展示をPTA活動の一環として行っています。今年度は8月に「親子で行くオープンキャンパスツアー」を開催し京都方面に行きました。11月は神戸方面へ、PTA研修旅行を実施し親睦を深めました。

近藤会長を中心に、文化祭での保護者の毎年の協力をはじめ、11月には毎年、保護者と教職員の親睦を深めるために関西方面へ研修旅行に出かけています。今年度は、神戸震災公園でボランティアガイドによる説明を受けて30年前の阪神・淡路大震災の記憶をよみがえらせました。また、8月の親子で行くオープンキャンパスツアーは、生徒、保護者、教員あわせて30名で京都橘大学・龍谷大学を訪問しました。保護者にとっても大学の雰囲気を見学する機会としても非常に良かったという声が寄せられました。

高瀬高等学校

本校は、昭和23年創立の今年度で77年となる全日制普通科高校です。校訓「信・愛・望」の精神のもと、確かな学力と豊かな心身を育て、個性を伸ばし、広い視野と主体的な行動力を備えた人間の育成に努める、ことを教育方針として人間力を高めることに力を注いでいます。



PTA研修旅行 (11月)



3行ラブレター (9月文化祭)

本校は、昭和23年創立の今年度で77年となる全日制普通科高校です。校訓「信・愛・望」の精神のもと、確かな学力と豊かな心身を育て、個性を伸ばし、広い視野と主体的な行動力を備えた人間の育成に努める、ことを教育方針として人間力を高めることに力を注いでいます。

今年度はコロナ感染症が収まり、普段の活動ができた年度でした。

香川西部支援学校

本校は、「明るく、たのしく、げんきよく」の校訓のもと、小学部・中学部・高等部の児童生徒が、一人ひとりに応じた目標をもって、将来の自立と社会参加を目指し日々学習に取り組んでいます。

PTAでは、環境委員会、研修委員会、広報委員会を中心に活動を行っています。今年度は、座談会や進路先見学、環境委員会活動に加え、年2回のPTAだよりと年1回のPTA新聞を発行しました。

座談会では、本校進路担当職員から「進路ガイド」の活用について話を聞いたり、「日頃の子育てで困っていることや悩んでいること」について意見交換をしたりしました。小学部・中学部・高等部それぞれの保護者から、日頃の悩みや思いなど多くの意見が出され、同じような悩みや苦勞を共有できる貴重な場となりました。

夏休み前に行った進路先見学では、観音寺市内の福祉施設を2か所訪問しました。どちらの施設でも、施設内をゆっくりと見学し、実際に作業をしている様子を見せていただきました。施設や利用者の方の様子を知ることは、子どもたちの進路や今後の生活について見通しをもつ大切な機会になると感じました。今後



進路先見学

も、地域のさまざまな施設を見学していきたくと考えています。

また、今年度は環境委員会活動としてベルマークの集計作業を行いました。これは、高等部の委員会活動との共同作業で、生徒が日頃行っている作業に触れながら、保護者同士の交流を深める機会にもなりました。

コロナ禍で中止したり方法を変更したりしてきたPTA活動も、少しずつ元の形に戻りつつあります。PTA活動は、保護者同士の交流の場であるとともに、子育てや子どもたちの進路、将来の生活について考えるための大切な情報交換の機会です。今後も、保護者同士の交流がさらに活発になるよう、活動内容や機会の充実に努めていきたいと考えています。

【高校生・保護者のためのキャリアガイダンス事業】

高校生の多様な進路希望の実現のため、県内の大学・短大と連携して、各学科の特色や大学生活の魅力、卒業後の進路、進路実現に向けたアドバイスなどの情報をお届けします。

四国学院大学

四国学院大学は、1949年に米国南長老教会L.W.モリア宣教師を学園長に迎え、四国基督教学園を設立したのが始まりで、今年で創立76年を迎えました。

「Vos estis sal terrae」

(汝らは、地の塩である。マタイによる福音書5章13節)をユニバーシティ・モットーに掲げ、これは「あなたがたは、塩のように、この世界で他のものにとって変わることでない、必要不可欠な存在なのである。」を意味しています。

本学では設立当初からリベラル・アーツを教育理念とし、幅広い学びを通じて、高い視座と広い視野を育み、様々な変化に遭遇してもしなやかに生きていける思考や感性を持つ人材育成を目標としています。

①レイト・スペシャライゼーションとメジャー制度

1年次は幅広い分野の授業を受講し、2年次からメジャー(主専攻)を選択するレイト・スペシャライゼーションを採用しています。2年次に専門分野を選択するため、幅広い学問に触れながら自分に合った選択が出来ます。

メジャー制度では、学部を超えて他の分野も組み合わせる学ぶことが可能です。複数の分野を学ぶことで視野を広げ、先行き不透明な時代の変化に対応できる力を付けます。

②ドラマ・エデュケーション

中四国で唯一、本格的な演劇コースがある本学だからこそできる演劇的手法を用いたカリキュラムです。グループでの創作活動を通じた協働経験を



問い合わせ先・四国学院大学入試課
電話・0120-459-433

高松短期大学

保育学科とビジネスデザイン学科(旧秘書科)があります。ビジネスデザイン学科では、ビジネスシーンに対応できるスキルや実践力だけでなく、4つのコース(総合ビジネス、医療事務、グローバルビジネス、ヒューマンIT)に分かれて専門的なスキルを培っています。今回は、医療事務コースについて説明します。

●医療事務(医療秘書)の仕事とは

「病院の顔」として患者さんに寄り添いスムーズな受診につなげるだけでなく、医師や看護師が治療に専念できるように事務作業をサポートし、医療現場を支える存在として、やりがいを感じられる仕事です。また、ライフスタイルに合わせて長く働き続けられます。主な業務は、

- ①受付・会計業務
患者様への対応、カルテの作成、診療内容のパソコンへの入力、会計書類の作成、会計などの業務です。
- ②レセプト業務(診療報酬請求事務)
患者様が保険診療した場合に、保険で支払った診療報酬の請求を行うための書類を作成する業務です。
- ③医療クラーク業務
医師の業務を軽減するために、カルテ(診療録)の代行入力、診断書・紹介状の作成などが主な業務であり、医師事務作業補助者とも呼ばれます。

●医療事務コースの学びの特徴

幅広い医療事務の資格・検定に対応
最初に「メディカルクラーク」(日本医療教育財団)に挑み、医療事務職に必要なスキル(接遇、医療費計算な

ど)や医学のスタンダードな知識を身につけます。次は「ドクターズクラーク」(同)で、カルテの代行入力など、医療クラーク業務に必要な知識・スキルを身につけます。さらに「医療コンピュター」や「電子カルテ」に関する検定(医療秘書教育全国協議会)にも挑みます。そして、学びの集大成として、四国で唯一本学だけで取得可能な日本医師会認定「医療秘書」の資格を卒業前に取得します。また、日本歯科医師会認定「歯科助手乙種第一・第二」の資格も取得できます。

専任教員が、医療事務に必要なスキルを学ぶ授業を担当するだけでなく、丁寧な個別指導で各種資格・検定の取得をサポートします。

「病院の顔」としてのスキル等を

ビジネスデザイン学科の一員として、ビジネススマナー(受付・電話対応)、PCスキル、コミュニケーション能力などを身につけられます。

就職のミスマッチを防ぐ
医療事務実習を就職希望先の医療機関にて実施できます。自分にあつた職場かどうかを事前に確認するだけでなく、自分自身の良さを知ってもらえるよい機会にもなります。

